

令和3年度 熱田区 区民アンケート

アンケート結果

令和4年1月
熱田区役所

調査の概要

1. 調査の目的

区政運営方針に対する区民の意見や取り組みへの評価等を把握するとともに、昨年度実施した調査との比較を行い、区将来ビジョンの成果指標の現状値計測を含め、今後の区政運営のための基礎資料とする。

2. 調査の地域

名古屋市熱田区の全域

3. 調査の対象

区内居住の18歳以上の男女1,200人

4. 調査対象抽出方法

無作為抽出法

5. 調査方法

通達員配布後 郵送回収法

6. 調査期間

令和3年 8月24日～ 9月14日

7. 回答者数

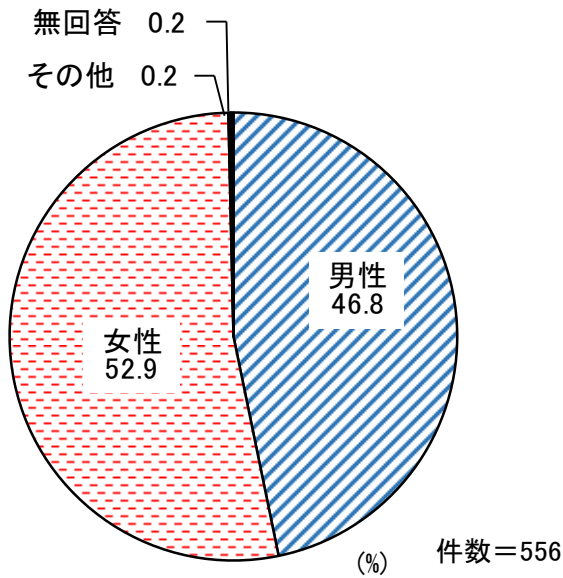
556人（回答率46.3%）

調査の結果

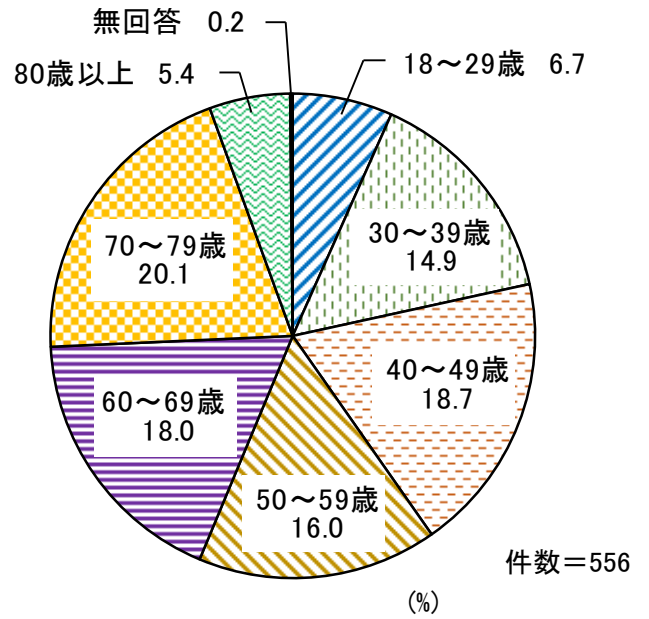
1 あなたご自身のことについて

1-1 対象者の属性

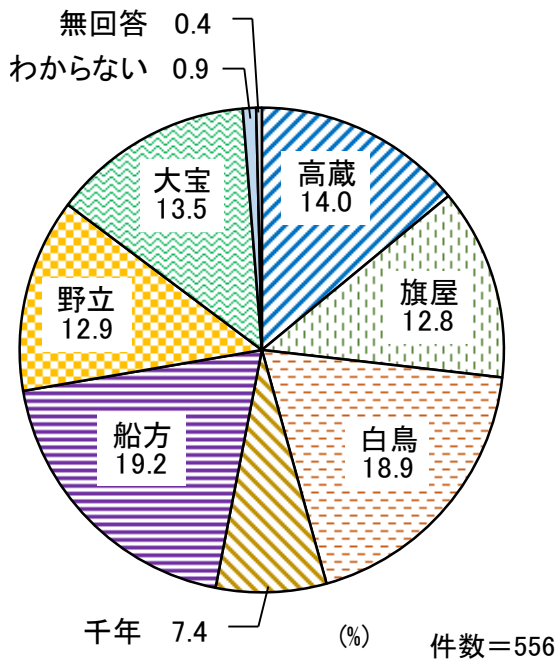
■性別



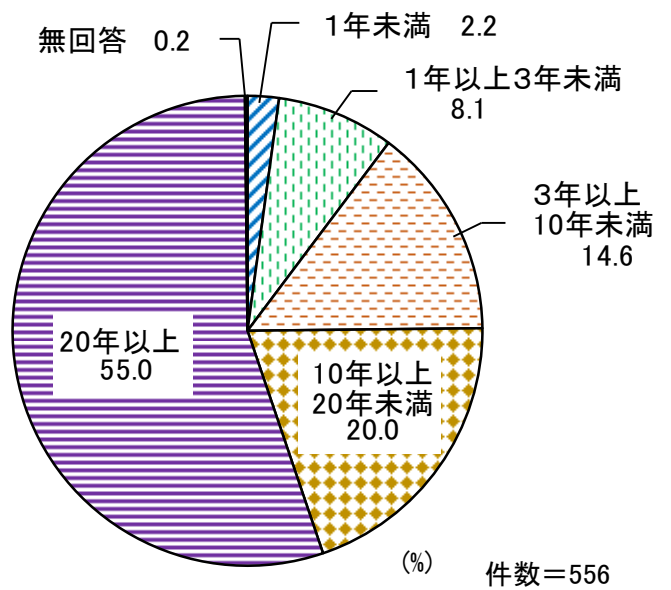
■年齢



■居住学区



■居住年数

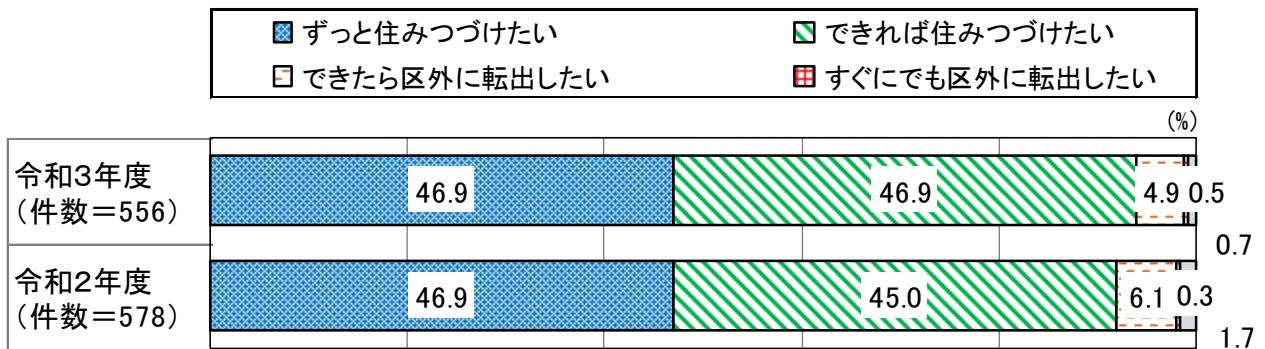


1-2 居住継続意向について

(1) 居住継続意向の有無

- これからも熱田区に住みつづけたいと思うかについては、「ずっと住みつづけたい」(46.9%)と「できれば住みつづけたい」(46.9%)の割合は合わせて93.8%で、9割以上が住みつづけたいと回答している。一方、「すぐにも区外に転出したい」(0.5%)はほとんどみられず、「できたら区外に転出したい」(4.9%)を合わせた区外に転出したいと回答した割合は5.4%となっている。
- 昨年度調査と比較しても、あまり差異はみられない。

問5. これからも熱田区に住みつづけたいと思いますか。
(あてはまるものに○をつけてください。)



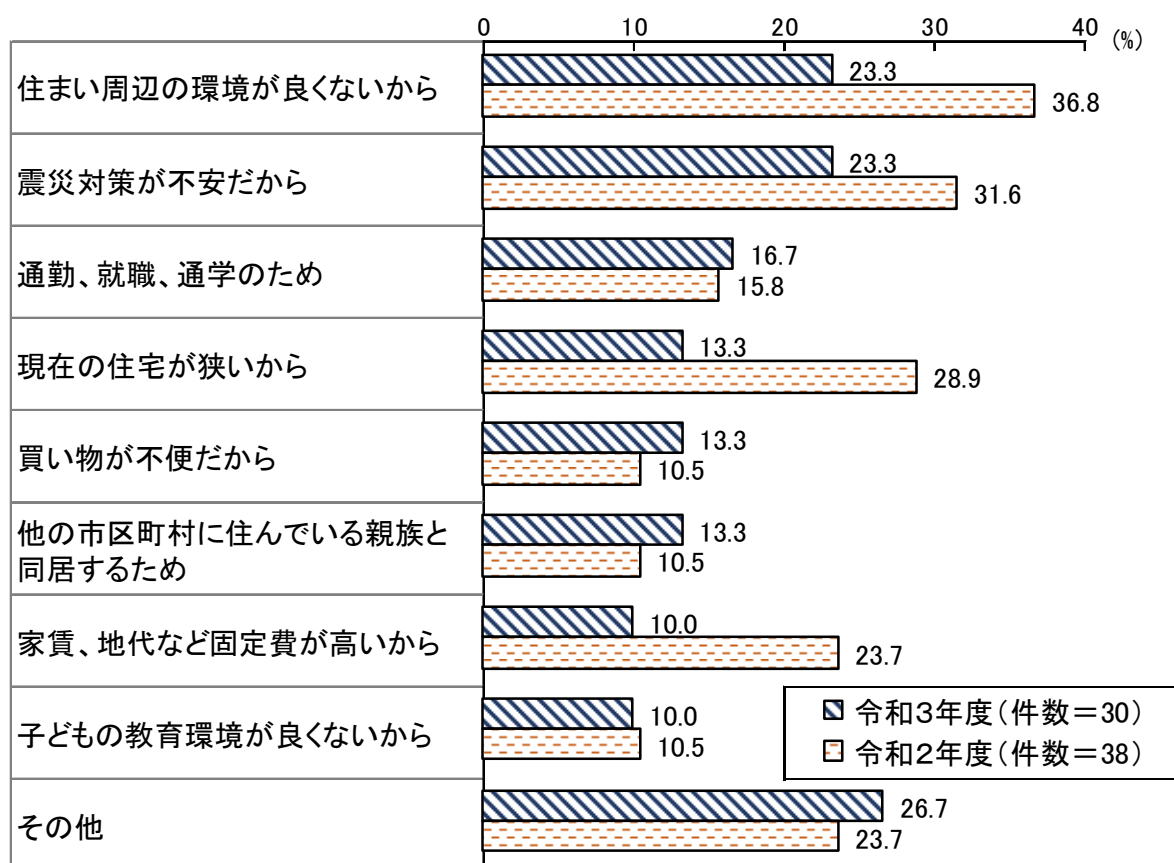
(2) 区外に転出したい理由

- 区外に転出したいと回答された方(30名)の理由としては、「住まい周辺の環境が良くないから」と「震災対策が不安だから」がともに23.3%と最も多く、次いで「通勤、就職、通学のため」(16.7%)となっている。
- 昨年度調査と比較すると、上位2項目は同じである。また、昨年度に比べ上位項目と下位項目の割合の差が小さくなっている。

(前問で「3」もしくは「4」を選んだ方にお聞きします。)

問6. あなたが区外に転出したい理由は何ですか。

(あてはまるものに3つまで○をつけてください。)



2. 区役所の取り組んだ事業について

2-1 「安心・安全で快適なまち」について

(1) 「安心・安全で快適なまち」の進捗状況

- 下記の取り組みなどを通じて「安心・安全で快適なまち」づくりが進んでいるかについては、「まあそう思う」の割合が63.5%と最も高く6割以上みられ、「そう思う」は14.2%で、合わせて77.7%と7割以上が進んでいると肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」(16.7%)と「そう思わない」(3.6%)を合わせた否定的な評価をする割合は20.3%となっている。
- 昨年度調査と比較しても、あまり差異はみられない。

(1) めざすべき将来像1 安心・安全で快適なまち
 (昨年度の主な取り組み事業例)

施策1 安心して暮らせるまちづくりの推進

- ・ 防犯にかかる啓発活動の実施
- ・ 交通安全キャンペーンの実施

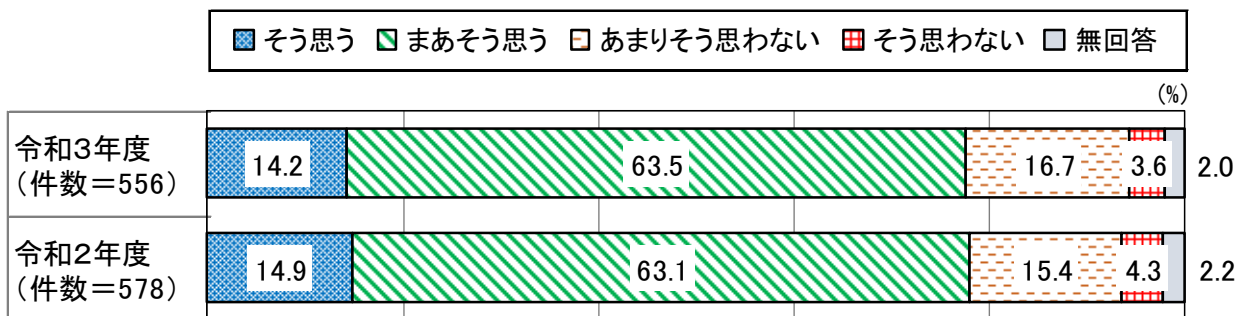
施策2 災害に強いまちづくりの推進

- ・ 指定避難所開設運営訓練、安否確認訓練の実施
- ・ 地区防災カルテの話し合いの実施

施策3 快適なまちづくりの推進

- ・ 地域の皆さまと協働で清掃活動
- ・ ペットの適正な飼い方の巡回キャンペーンの実施

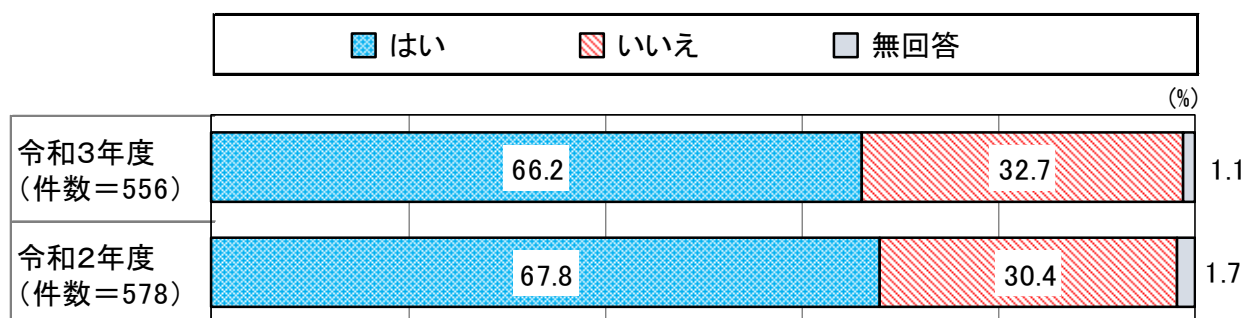
問7. あなたは、上記の取り組みなどを通じて「安心・安全で快適なまち」づくりが進んでいると思いますか。(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)



(2) 家庭内の災害に対する備えの有無

- 家庭内において、災害に対する備え（家具の転倒防止、水や食料などの備蓄、家族防災会議の実施、防災アプリの利用など）をしているかについては、「はい」が66.2%と6割以上みられ、「いいえ」は32.7%となっている。
- 昨年度調査と比較しても、あまり差異はみられない。

問8. あなたは、家庭内において、災害に対する備え（家具の転倒防止、水や食料などの備蓄、家族防災会議の実施、防災アプリの利用など）をしていますか。
 （あてはまるものに○をつけてください。）

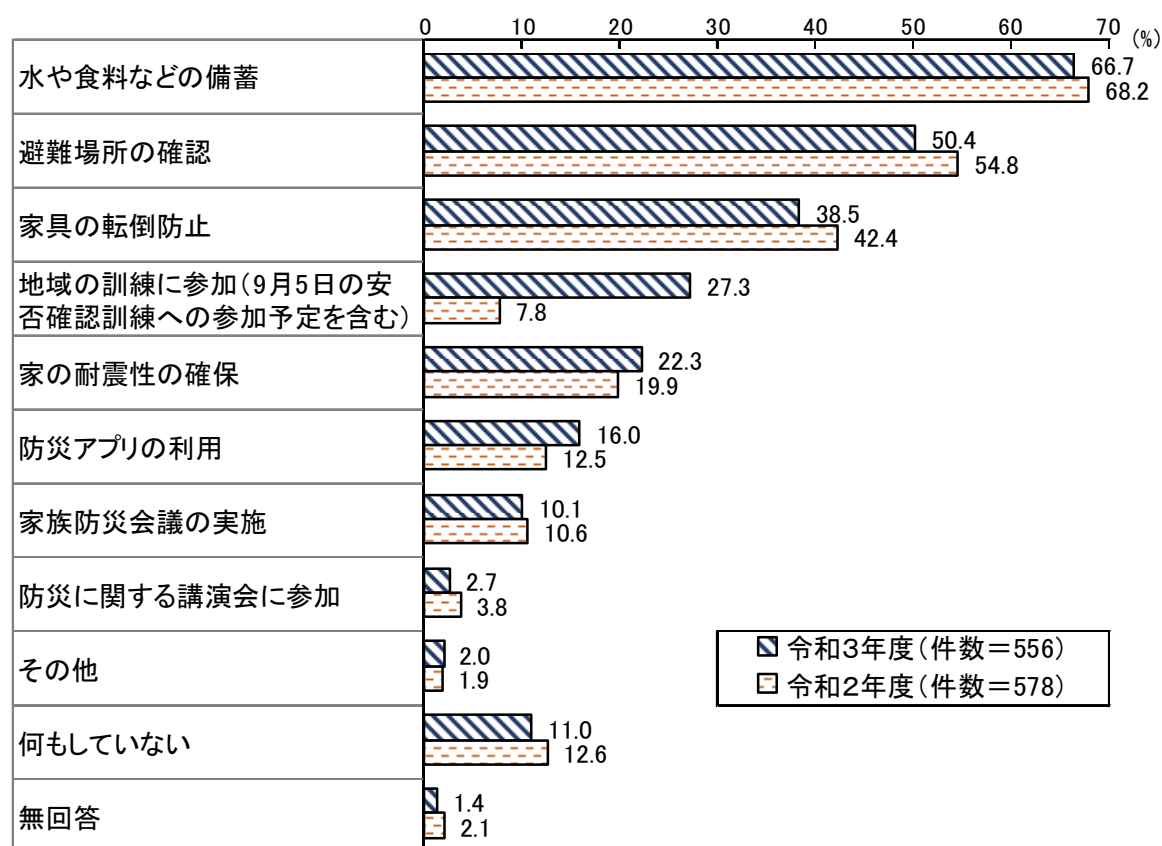


(3) 行っている災害に対する備え

- 実際に行っている災害に対する備えとしては、「水や食料などの備蓄」が 66.7%と最も多く 7割近くの区民が行っている。次いで、「避難場所の確認」(50.4%)についても半数が行っている。以下、「家具の転倒防止」(38.5%)、「地域の訓練に参加(9月5日の安否確認訓練への参加予定を含む)」(27.3%)、「家の耐震性の確保」(22.3%)、「防災アプリの利用」(16.0%)、「家族防災会議の実施」(10.1%)と続いており、自助の備えを行っている区民が多い。一方、「何もしていない」と回答された方は11.0%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、上位3項目は同じ順である。また、「地域の訓練に参加(9月5日の安否確認訓練への参加予定を含む)」は、今年度は全世帯を対象とした訓練が行われたためか、昨年度より大幅に増加している。

問9. あなたが、実際に行っている災害に対する備えを教えてください。

(あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも可))



注:「地域の訓練に参加」は、昨年度は「(9月5日の安否確認訓練への参加予定を含む)」の表記はなし。

「防災に関する講演会に参加」は、昨年度は「防災に関する講演会や講習会に参加」であった。

2-2 「安心して子育てができ、子どもや若者が健全に育つまち」について

(1) 「安心して子育てができ、子どもや若者が健全に育つまち」の進捗状況

- 下記の取り組みなどを通じて「安心して子育てができ、子どもや若者が健全に育つまち」づくりが進んでいるかについては、「まあそう思う」の割合が61.5%と最も高く6割以上みられ、「そう思う」は9.7%で、合わせて71.2%と7割以上が肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」(17.1%)、「そう思わない」(4.3%) 合わせて否定的な評価をする割合は21.4%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、肯定的な評価の割合は5.8ポイント減少している。

(2) めざすべき将来像2 安心して子育てができ、子どもや若者が健全に育つまち

(昨年度の主な取り組み事業例)

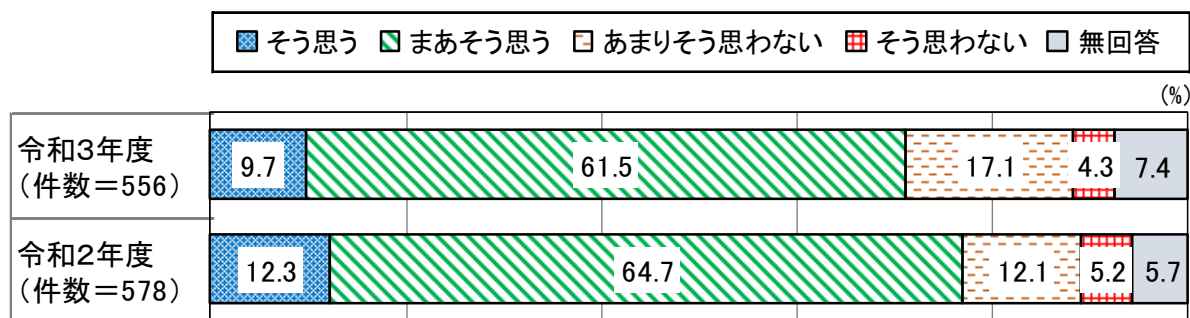
施策4 子育て支援

- ・ 思春期セミナーの開催
- ・ 児童委員による赤ちゃん訪問事業

施策5 青少年健全育成の推進

- ・ 生活安全講話とあわせた親子ふれあいマジックショーの開催
- ・ 青少年を守るキャンペーンの実施

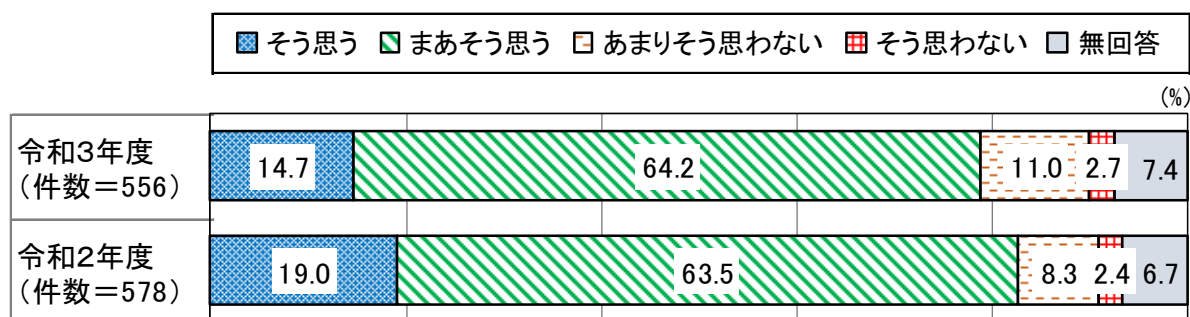
問10. あなたは、上記の取り組みなどを通じて「安心して子育てができ、子どもや若者が健全に育つまち」づくりが進んでいると思いますか。
(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)



(2) 熱田区は「子育てしやすいまち」かについて

- 熱田区は子育てしやすいまちだと思うかについては、「まあそう思う」(64.2%)が最も高く6割以上みられ、「そう思う」は14.7%であり、合わせて78.9%と8割程が肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」(11.0%)、「そう思わない」(2.7%)合わせて否定的な評価の割合は13.7%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、肯定的な評価の割合は3.6ポイント減少している。

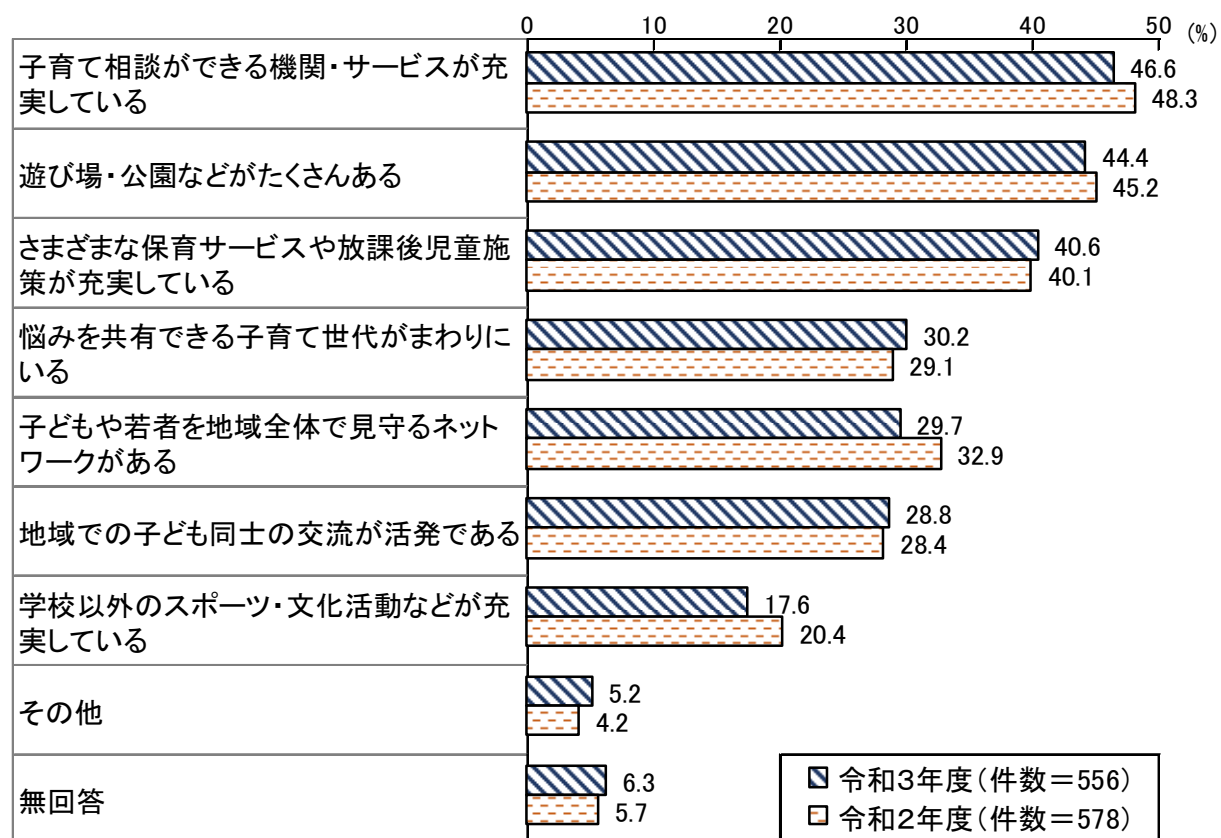
問 11. あなたは、熱田区は子育てしやすいまちだと思いますか。
(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)



(3) 「子育てしやすいまち」に必要なこと

- 「子育てしやすいまち」に必要なだと思うことについては、「子育て相談ができる機関・サービスが充実している」(46.6%) が最も高く、「遊び場・公園などがたくさんある」(44.4%)、「さまざまな保育サービスや放課後児童施策が充実している」(40.6%) で続き、以下、「悩みを共有できる子育て世代がまわりにいる」(30.2%)、「子どもや若者を地域全体で見守るネットワークがある」(29.7%)、「地域での子ども同士の交流が活発である」(28.8%) は3割程となっている。
- 昨年度調査と比較すると、上位3項目は同じ順である。昨年度とあまり差異はみられない。

問 12. あなたは、「子育てしやすいまち」には何が重要だと思いますか。
(あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください。)



2-3 「誰もが『生きがい』や『あったかさ』を感じられるまち」について

(1) 「誰もが『生きがい』や『あったかさ』を感じられるまち」の進捗状況

- 下記の取り組みなどを通じて「誰もが『生きがい』や『あったかさ』を感じられるまち」づくりが進んでいるかについては、「まあそう思う」の割合が64.7%と最も高く6割以上を占め、「そう思う」は8.8%で、合わせて73.5%と7割以上が肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」(17.4%)、「そう思わない」(3.8%) 合わせて否定的な評価をする割合は21.2%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、昨年度より肯定的な評価の割合は5.5ポイント減少している。

(3) めざすべき将来像3 誰もが「生きがい」や「あったかさ」を感じられるまち

(昨年度の主な取り組み事業例)

施策6 生涯学習の振興

- ・ 秋のいけ花展や学生書道選抜展の開催

施策7 区民の健康づくりの推進

- ・ 健康体操熱田区オリジナルバージョンの普及啓発

施策8 地域福祉の推進

- ・ ふれあい・いきいきサロンの開設・運営を支援
- ・ 子育てと介護のダブルケアシンポジウムの実施

施策9 高齢者への支援

- ・ フレイル予防に関する情報発信
- ・ 認知症サポーター養成講座の実施

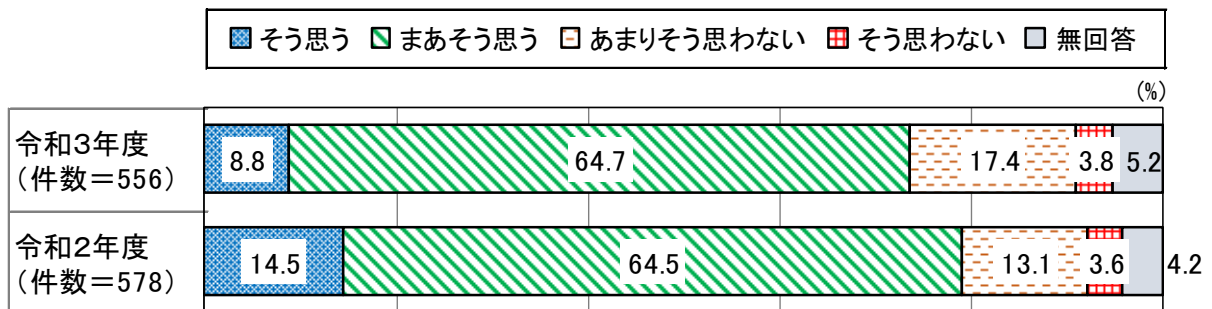
施策10 地域包括ケアシステムの推進

- ・ 地域包括ケアの普及啓発
- ・ 緊急時あんしんキットの配付

施策11 障害者への支援

- ・ 障害及び障害者への理解を深める取り組みを実施
- ・ 区役所内での授産製品販売支援

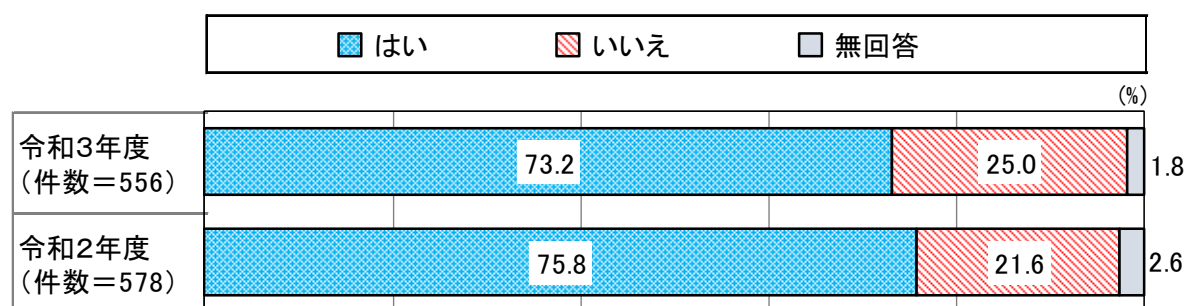
問13. あなたは、上記の取り組みなどを通じて「誰もが『生きがい』や『あったかさ』を感じられるまち」づくりが進んでいると思いますか。
(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)



(2) 健康づくりへの取り組みの有無

- 健康づくり（朝食を毎日食べる、睡眠を十分に取る、週に1回以上運動・スポーツを実施しているなど）への取り組みについては、「はい」が73.2%と、7割以上の区民が健康づくりに取り組んでいる。一方、「いいえ」の割合は25.0%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、「いいえ」の割合が3.4ポイント増加している。

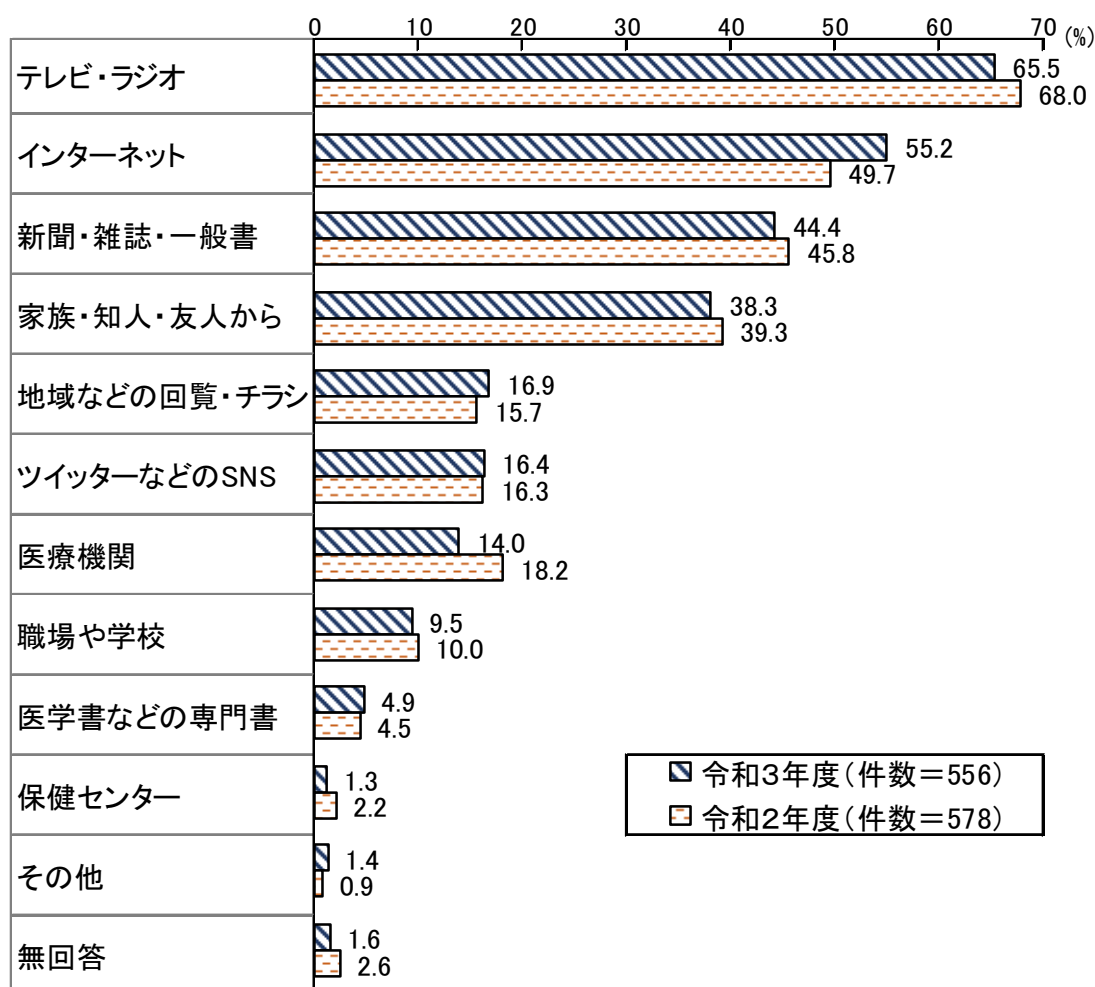
問 14. あなたは、健康づくり（朝食を毎日食べる、睡眠を十分に取る、週に1回以上運動・スポーツを実施しているなど）に取り組んでいますか。
（あてはまるものに○をつけてください。）



(3) 健康づくりに関する情報の入手経路

- 健康づくりに関する情報の入手先としては、「テレビ・ラジオ」が 65.5%と最も高く、次いで「インターネット」(55.2%)、「新聞・雑誌・一般書」(44.4%)、「家族・知人・友人から」(38.3%)と続いており、そのほかは2割未満と少数である。
- 昨年度調査と比較すると、上位4項目は同じ順であるが、「インターネット」の割合は昨年度より5.5ポイント増加している。また、「医療機関」の割合は、昨年度より4.2ポイント減少している。

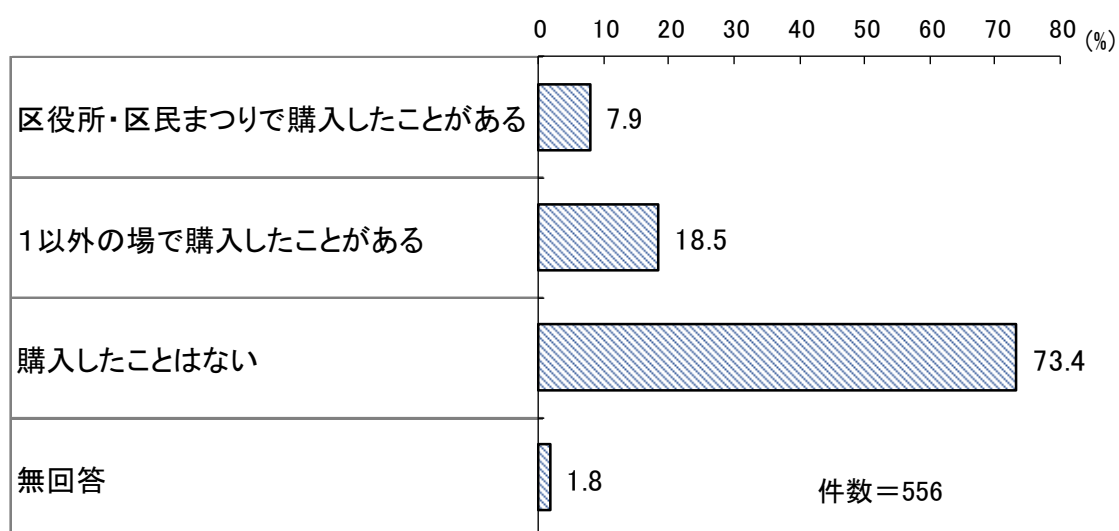
問 15. あなたは、健康づくりに関する情報をどのようにして知ることが多いですか。
(あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも可))



(4) 授産製品の購入経験

- 障害のある方が製作した授産製品の購入については、「区役所・区民まつり以外の場で購入したことがある」が18.5%、「区役所・区民まつりで購入したことがある」は7.9%であり、いずれかで購入したことある区民の割合は24.8%となっている。一方、「購入したことはない」は73.4%と7割以上を占めている。

問 16. 熱田区では、現在区役所庁舎内（毎月第2・4金曜日）や区民まつりなどで障害のある方が製作した授産製品を販売しています。あなたは、授産製品を購入したことがありますか。
（あてはまるものに○をつけてください。）



2-4. 「歴史的資産、文化的風土を活かした活気あるまち」について

(1) 「歴史的資産、文化的風土を活かした活気あるまち」の進捗状況

- 下記の取り組みなどを通じて「歴史的資産、文化的風土を活かした活気あるまち」づくりが進んでいるかについては、「まあそう思う」が61.2%と6割以上を占め、「そう思う」は10.6%で、合わせて71.8%と7割以上を占めている。一方、「あまりそう思わない」(18.3%)、「そう思わない」(5.0%) 合わせて否定的な評価の割合は23.3%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、肯定的な評価の割合は6.9ポイント減少している。

(4) めざすべき将来像4 歴史的資産、文化的風土を活かした活気あるまち

(昨年度の主な取り組み事業例)

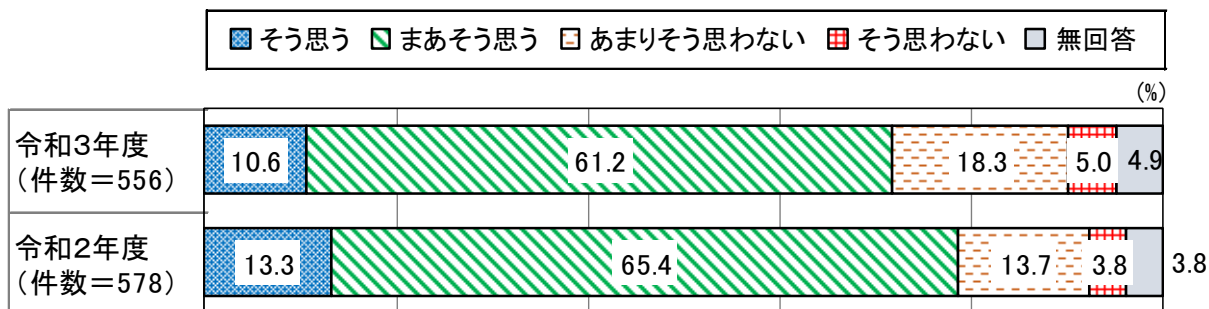
施策12 あつたの魅力向上・魅力発信

- ・ トークショーや寺院など区の魅力を動画で配信
- ・ 区役所保有の歴史資料の展示

施策13 地域活動への支援

- ・ 町内会・自治会への加入促進の支援
- ・ 地域団体や大学などの活動支援

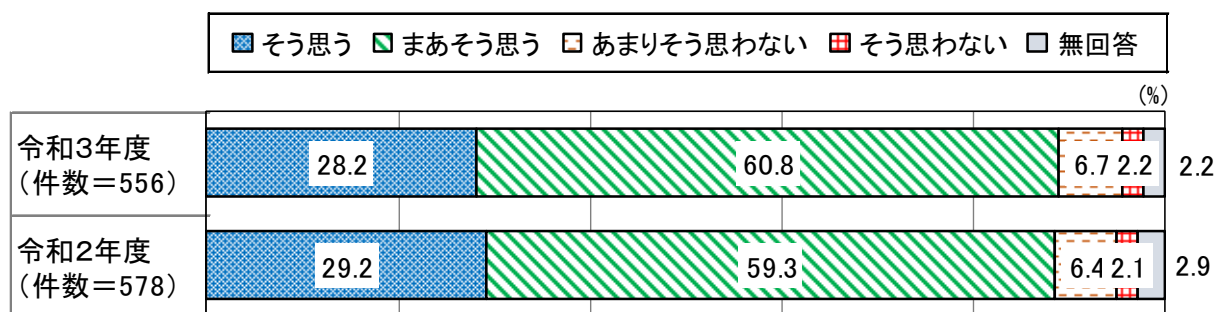
問 17. あなたは、上記の取り組みなどを通じて「歴史的資産、文化的風土を活かした活気あるまち」づくりが進んでいると思いますか。
(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)



(2) 熱田区は「魅力的なまち」かについて

- 熱田区は魅力的なまちだと思うかについては、「まあそう思う」(60.8%)が最も高く6割を占め、「そう思う」は28.2%と3割程であり、合わせて89.0%と9割程が肯定的な評価をしている。一方、否定的評価の割合は合わせても8.9%と1割に満たない。
- 昨年度調査と比較しても、あまり差異はみられない。

問 18. あなたは、熱田区は魅力的なまちだと思いますか。
(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)

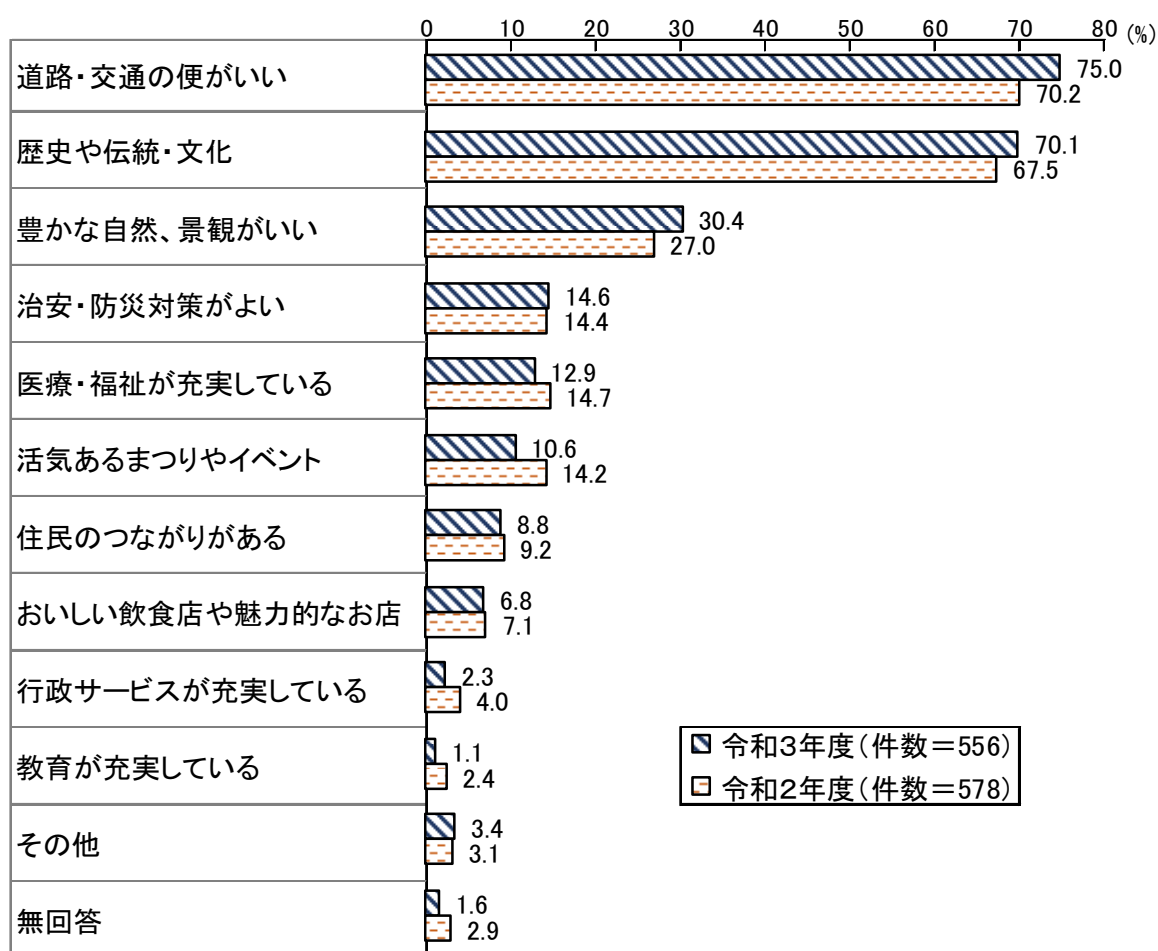


(3) 熱田区の魅力

- 熱田区の魅力としては、「道路・交通の便がいい」の割合が75.0%と最も多く7割以上の区民があげており、次いで、「歴史や伝統・文化」(70.1%)が7割となっている。以下、「豊かな自然、景観がいい」(30.4%)が3割で、そのほかは15%以下となっている。
- 昨年度調査と比較すると、上位3項目は同じ順であり、3項目とも昨年度より3~5ポイント増加している。一方、「活気あるまつりやイベント」の割合は、昨年度より3.6ポイント減少している。

問 19. あなたは、熱田区のどんなところが魅力だと思いますか。

(あてはまるもの3つまで選んで○をつけてください。)

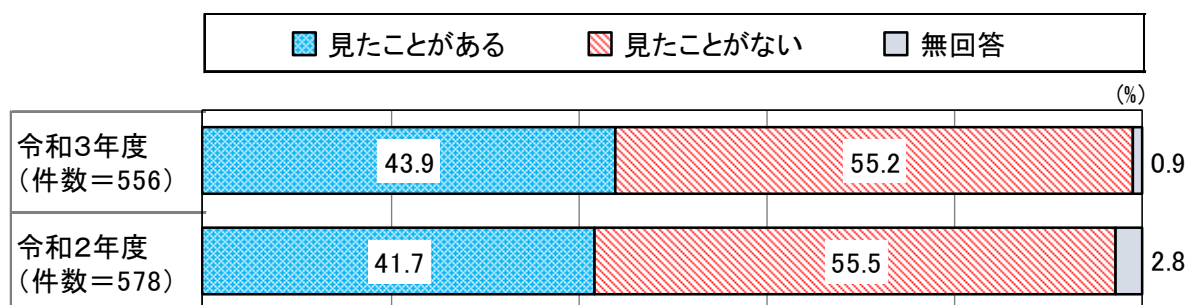


(4) 熱田ブランドマークを見たことの有無

- 熱田区の魅力発信や郷土愛をはぐくむため、熱田ブランド事業を行い、区民の投票により決定した熱田ブランドマークを「見たことがある」区民は43.9%となっている。一方、「見たことがない」は55.2%と過半数を占めている。
- 昨年度調査と比較しても、あまり差異はみられない。

問 20. 熱田の魅力発信や郷土愛をはぐくむため、熱田ブランド事業を行い、熱田ブランドマークが皆さまの投票により決定しました。
あなたは、右のマークを見たことがありますか。
(あてはまるものに○をつけてください。)

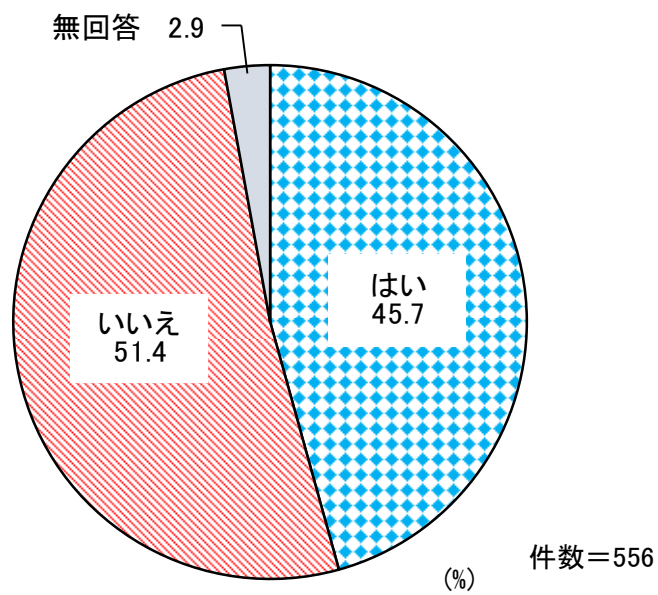
熱 待 君
田 つ を
まち



(5) 熱田区を舞台にした映画「名も無い日」の認知

○ 令和3年5月に公開された熱田区を舞台にした映画「名も無い日」の認知としては、「はい」と知っている区民は45.7%となっている。一方、「いいえ」と知らない区民は51.4%と過半数を占めている。

問21. 令和3年5月に公開された熱田区を舞台にした映画「名も無い日」を知っていますか。
(あてはまるものに○をつけてください。)



2-5. 「皆さまに信頼されるあったか区役所」について

(1) 「皆さまに信頼されるあったか区役所」の進捗状況

- 下記の取り組みなどを通じて「皆さまに信頼されるあったか区役所」づくりが進んでいるかについては、「まあそう思う」の割合が65.5%と6割以上を占め、「そう思う」(7.9%)を合わせて73.4%と7割以上が肯定的な評価をしている。一方、「あまりそう思わない」(17.6%)、「そう思わない」(3.8%)を合わせて否定的な評価をする割合は21.4%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、肯定的な評価の割合は5.7ポイント減少している。

(5) 区政運営 皆さまに信頼されるあったか区役所

(昨年度の主な取り組み事業例)

施策14 区民サービスの向上

- ・ 接遇研修や業務改善の庁内選考会あつたカップの開催

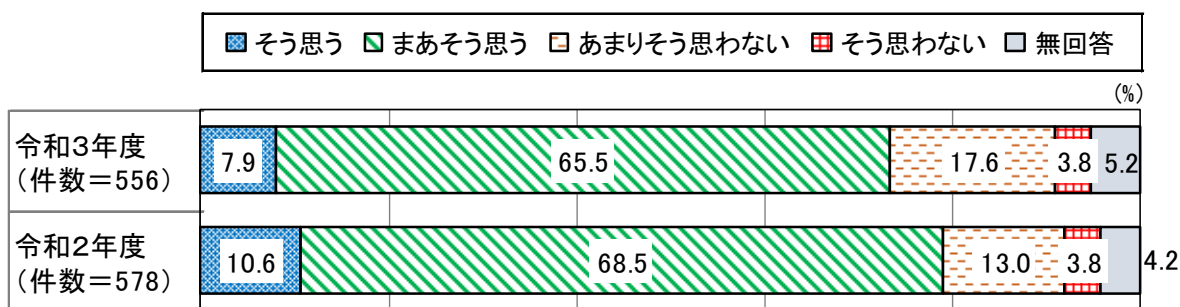
施策15 区民ニーズの把握

- ・ 区民アンケートの実施や区民会議の開催

施策16 区民への情報提供

- ・ 広報なごや区版や区ホームページの充実

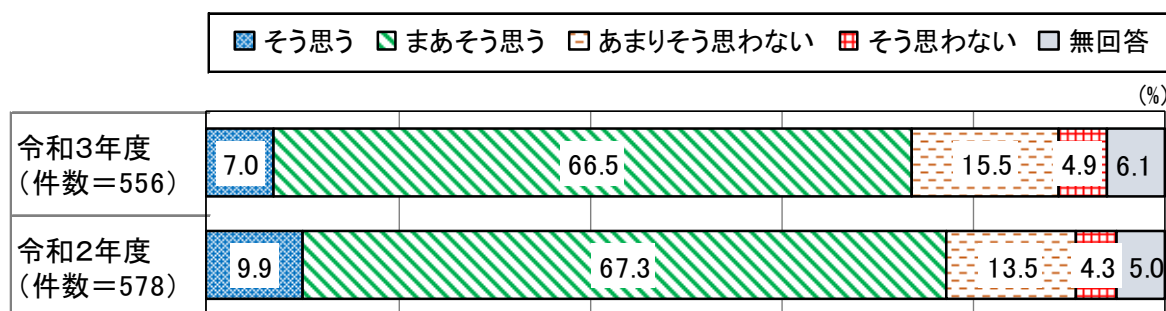
問 22. あなたは、上記の取り組みなどを通じて「皆さまに信頼されるあったか区役所」づくりが進んでいると思いますか。(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)



(2) 区民ニーズや課題の把握について

- 区役所が区民のニーズや課題の把握に努めているかについては、「まあそう思う」(66.5%)、「そう思う」(7.0%) が合わせて73.5%と肯定的な評価の割合は7割以上となっている。一方、「あまりそう思わない」(15.5%)、「そう思わない」(4.9%) 合わせて否定的な評価の割合は20.4%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、肯定的な評価の割合は3.7ポイント減少している。

問 23. あなたは、区役所は区民のニーズや課題の把握に努めていると思いますか。
(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)



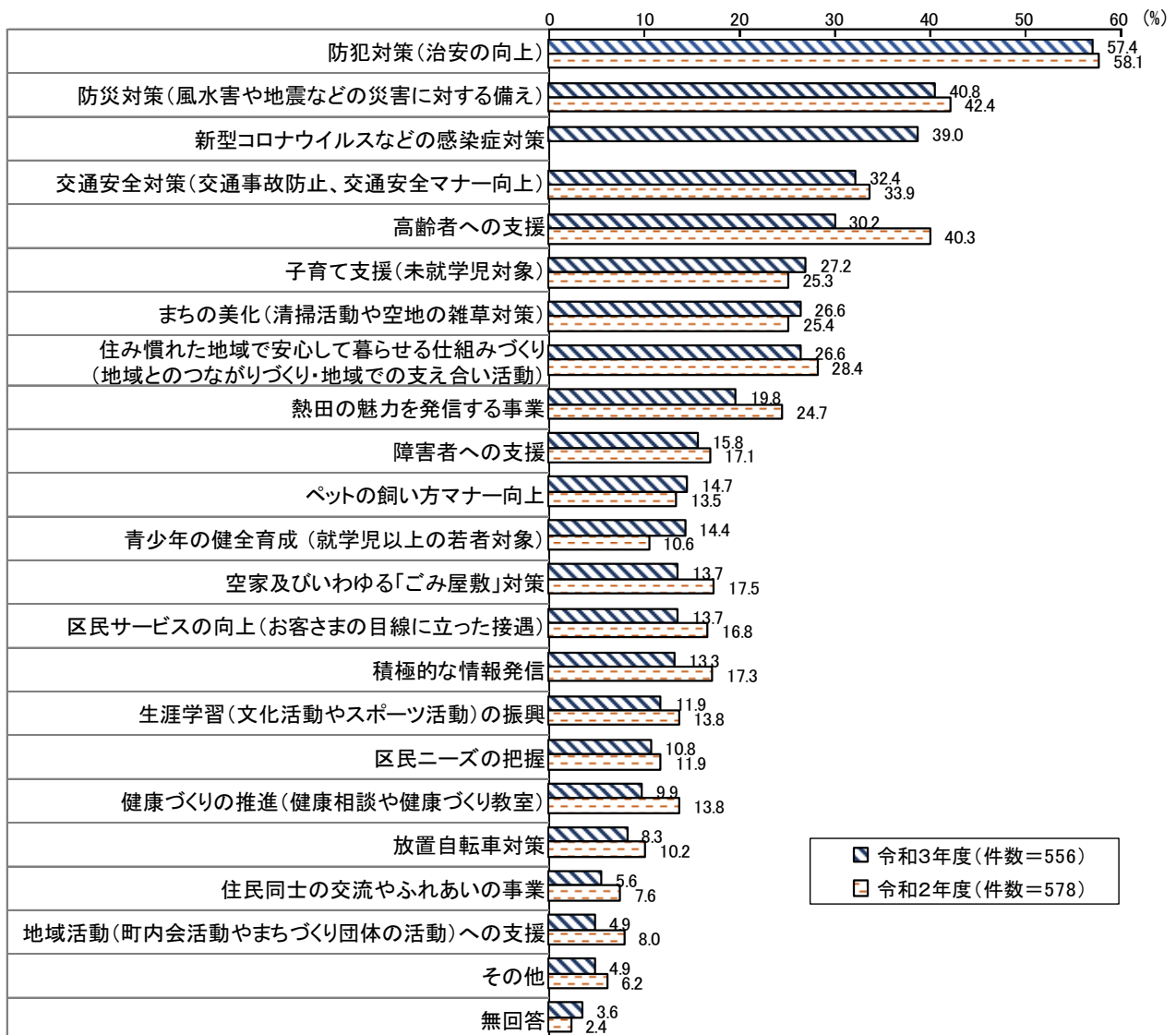
3. 力を入れて取り組むべき課題について

3-1 区役所が力を入れるべき取り組み

- 今後、区役所が力を入れて取り組むべき課題としては、「防犯対策（治安の向上）」が57.4%で最も高く6割近くの区民があげている。以下、「防災対策（風水害や地震などの災害に対する備え）」（40.8%）、「新型コロナウイルスなどの感染症対策」（39.0%）、「交通安全対策（交通事故防止、交通安全マナー向上）」（32.4%）、「高齢者への支援」（30.2%）、「子育て支援（未就学児対象）」（27.2%）、「まちの美化（清掃活動や空地の雑草対策）」（26.6%）、「住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくり（地域とのつながりづくり・地域での支え合い活動）」（26.6%）と続いている。
- 昨年度調査と比較すると、上位2位までは同じである。また昨年度第3位であった「高齢者への支援」の割合は、昨年度より10.1ポイント減少している。

問24. あなたは、今後、区役所が力を入れるべき取り組みは何だと思いますか。

（あてはまるもの5つまで選んで○をつけてください。）



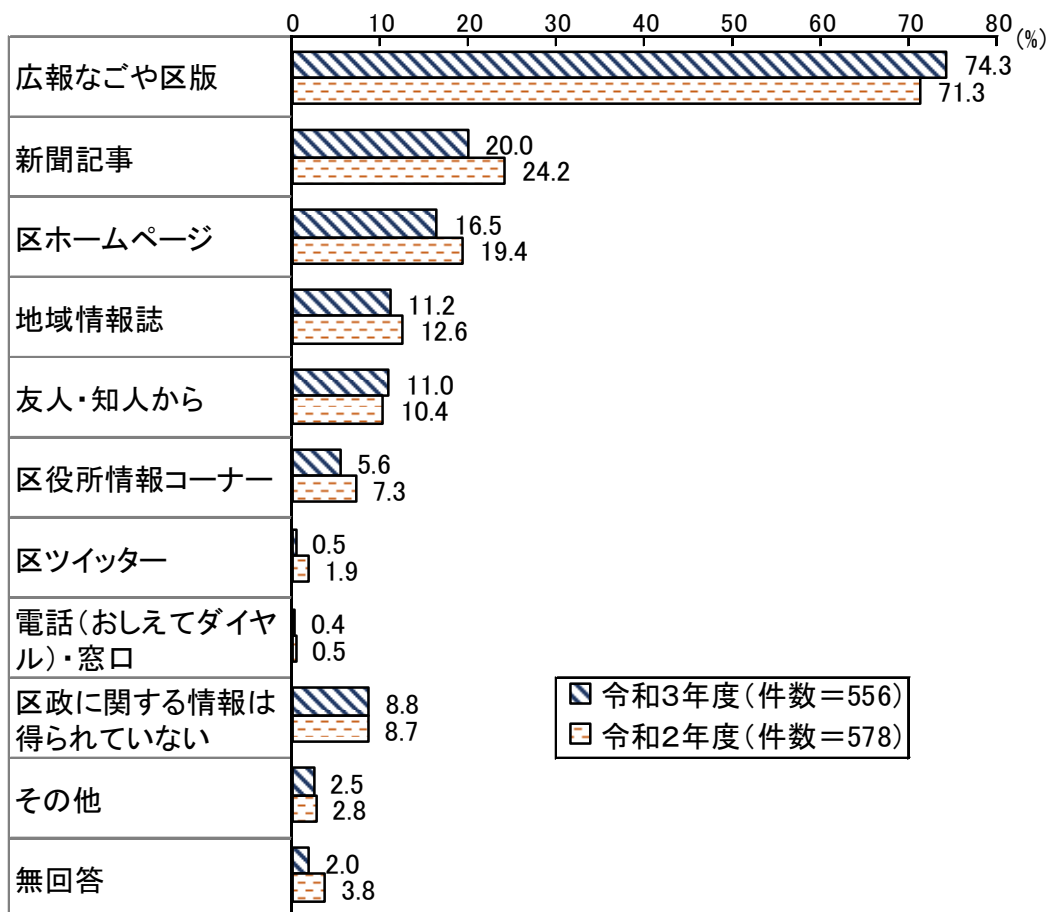
注:「新型コロナウイルスなどの感染症対策」は、今年度新規項目。

4. 熱田区役所の情報発信について

4-1 区政に関する情報の入手経路

- 区政に関する情報の入手先としては、「広報なごや区版」が74.3%と最も高く、他を圧倒している。次いで、「新聞記事」(20.0%)、「区ホームページ」(16.5%)、「地域情報誌」(11.2%)、「友人・知人から」(11.0%)で続いている。一方、「区政に関する情報は得られていない」と8.8%が回答している。
- 昨年度調査と比較すると、「広報なごや区版」は依然として圧倒的に高く、昨年度より3.0ポイント増加している。一方、昨年度より「新聞記事」は4.2ポイント、「区ホームページ」は2.9ポイント減少している。

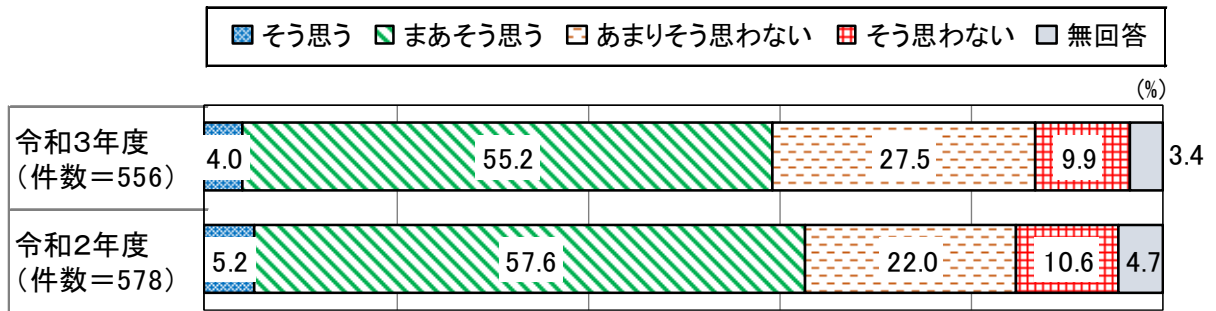
問 25. あなたは、区政に関する情報をどのようにして知ることが多いですか。
(あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも可))



4-2 区政に関する情報は十分か

- 区政に関する情報が十分に得られているかについては、「まあそう思う」が55.2%と5割以上を占め、「そう思う」(4.0%)を合わせて59.2%と肯定的な評価の割合は6割程となっている。一方、「あまりそう思わない」(27.5%)、「そう思わない」(9.9%)を合わせた否定的な評価の割合は37.4%となっている。
- 昨年度調査と比較すると、肯定的な評価の割合は昨年度より3.6ポイント減少している。

問26. あなたは、区政に関する情報が十分に得られていると思いますか。
(あてはまるもの1つだけ選んで○をつけてください。)



5. ご意見・ご要望等（自由記入）

問27. 熱田区のまちづくりや熱田区役所に対するご意見・ご要望、今後、熱田区をさらに魅力あふれるまちにするために取り組むべき施策などがありましたら、ご自由にお書きください。

熱田区に対するご意見を自由に記入していただいたところ、175件のご意見をいただきました。

18歳から29歳まで	13件
30歳から39歳まで	33件
40歳から49歳まで	34件
50歳から59歳まで	27件
60歳から69歳まで	32件
70歳から79歳まで	28件
80歳以上	8件

いただいたご意見は、熱田区ホームページにて掲載しています。

【ホームページアドレス】 <https://www.city.nagoya.jp/atsuta/>

お問い合わせ先：熱田区役所企画経理室

〒456-8501 名古屋市熱田区神宮三丁目1番15号

TEL： (052) 683-9688

FAX： (052) 682-1496

E-mail： a6839686@atsuta.city.nagoya.lg.jp